

賛助会員募集のご案内

募集の趣旨

全日本断酒連盟賛助会員の制度をご紹介します、皆様のご賛助をお願い申し上げます。

はじめに

アルコールは生活に潤いをもたらす飲み物として、人類の歴史の中でも大いに利用されてきましたが、近年、厚生労働省の「健康に配慮した飲酒のガイドライン」等で、癌や肝硬変をはじめとする多くの身体疾患の原因となっていることが指摘され、また、その強い依存性のため、多くの過剰飲酒者や依存症を生み出し、その飲酒者本人と周囲の人々に及ぼす害悪は、あらゆる依存性薬物の中でも最悪であるとの研究成果も発表されています。



常習飲酒運転、失業、経済的困窮、家庭内暴力などアルコールに起因する社会問題が次々と顕在化する一方、問題飲酒と言われる大量飲酒者層は過去の中年男性中心から高齢者、若年者、女性と社会全体に広がりを見せています。

全日本断酒連盟は、アルコール依存症当事者を中心とする自助団体で、お酒で悩んでいる本人とその家族をはじめ周囲で迷惑を被り困り果てている方々の相談に応じ、本人が飲酒の害から回復し、酒のない新しい生活を始めることで、本来の自分と家庭を取り戻し、社会の信頼を回復できるよう支援しております。

アルコール健康障害対策基本法の成立

平成 25 年 12 月、断酒連盟が、その創立以来求めてきたアルコール依存症をはじめアルコール関連問題を包括的に解決するための「アルコール健康障害対策基本法」が制定されました。

それから 10 年余、以前にもまして、会員のためだけでなく、公益法人として不特定多数のアルコールの害に苦しむ方々の回復を支援し、社会の皆さまにアルコールの害とアルコール依存症という病へのご理解を深めていただくための事業活動に努めております。

支援のお願い

このような社会啓発と支援に要する活動費用は 95%、会員の会費により賄ってまいりましたが、今後の活動展開のためには、財政的に、限界に達しております。

この 10 年間、多くの法人の皆様、医療機関の皆様、ならびに個人の皆様からの温かい賛助のご支援をいただいておりますが、今後、より一層のご理解と財政面でのご支援をお願い申し上げますとともに、改めて、新しい賛助会員の募集を行う次第であります。詳細は、「賛助会員募集要項」をご覧ください。



皆様のご賛助をお願い申し上げます